

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

平成29年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団		
所在地	新潟市中央区白山浦1丁目613番地69 新潟市開発公社会館内		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 小池 泰子	電話番号	025-234-4520 内線35330
	元新潟市教育委員長	ホームページ	http://www.mmjp.or.jp/nc-acpf/
市所管課	文化政策課	電子メール	zaidansoumuka@niigata.email.ne.jp
基本財産 (基本金)	1,000,000 千円	設立年月日	平成3年7月6日 (平成24年4月1日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	1,000,000 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする。(定款第3条より)		
経営理念 経営方針	上記の目的を達成するため次の事業を行う。 (1) 文化的な環境の充実及び文化活動の活性化事業 (2) 芸術文化の創造・発信、振興及び普及 (3) 歴史文化の振興及び情報収集・提供並びに調査研究 (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条より)		

2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
事務局文化事業(公1) ※公益財団法人			ミニライブコンサートや新潟市出身作家の顕彰、文化事業の共催・後援・助成などの実施のほか、アーツカウンシル新潟による文化団体等への支援・助成事業や情報の収集・発信、企画提案等の多様な事業の実施により、新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	15,703	14,771	38,034	69,680
活動指標・成果目標			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
助成金交付件数		計画 実績	件	25	18	23	

事業名 ②			事業概要				
市民芸術文化会館・音楽文化会館事業・県民会館事業(公2) ※公益財団法人			市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館・県民会館の諸施設を活用した、音楽・演劇・能楽などの鑑賞系・普及系・育成系事業や新潟発創造事業等の文化事業を行うほか、コンサートホール・劇場・能楽堂・ギャラリー・スタジオ・練習室等の管理運営及び貸館事業(公益目的に合致するもの)を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
公益事業	受託事業	支出額	千円	1,208,190	1,184,142	1,321,607	1,203,527
活動指標・成果目標			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
市民芸術文化会館入場者数(全体)		計画 実績	人	347,000 370,040	347,000 373,482	328,000 323,780	237,000
市民芸術文化会館入場者数(上記のうち自主事業)		計画 実績	人	120,000 102,621	120,000 134,067	120,000 131,144	104,000
音楽文化会館入場者数		計画 実績	人	178,000 178,931	104,000 102,488	178,000 162,766	178,000
文化事業自主財源比率		計画 実績	%	60.0 61.3	60.0 64.5	60.0 69.6	60.0
コンサートホール利用率		計画 実績	%	89.0 89.5	89.0 82.7	89.0 87.2	89.0
劇場利用率		計画 実績	%	78.0 78.8	78.0 83.3	78.0 80.6	78.0
能楽堂利用率		計画 実績	%	47.0 37.7	47.0 44.8	47.0 35.1	47.0
音楽文化会館ホール利用率		計画 実績	%	74.0 70.4	74.0 67.2	74.0 65.8	74.0

事業名 ③			事業概要				
歴史博物館等・旧小澤家住宅事業(公3) ※公益財団法人			歴史博物館、旧新潟税関庁舎等、及び旧小澤家住宅において、新潟市域の歴史文化に関する調査・研究や資料収集・保存、企画展や体験プログラム、各種講座、施設普及事業を開催・実施するほか、施設の管理運営及び貸室事業(公益目的に合致するもの)を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
公益事業	受託事業	支出額	千円	223,965	187,045	154,583	159,717
活動指標・成果目標			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
歴史博物館事業(企画展、講座等)実施件数		計画 実績	件	77 110	74 107	74 139	129
旧小澤家住宅事業(企画展、講座等)実施件数		計画 実績	件	30 44	30 47	30 52	35
歴史博物館等入館者数		計画 実績	人	100,000 113,657	114,000 100,447	114,000 93,652	100,000
旧小澤家住宅入館者数		計画 実績	人	14,000 18,005	18,000 16,552	18,000 15,795	16,000

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
役員数	10	10	11	11
常勤	2	2	3	3
市派遣	0	0	0	0
市職員OB	2	2	3	3
プロパー役員	0	0	0	0
他団体からの派遣	0	0	0	0
非常勤	8	8	8	8
市兼任	2	2	2	2
市職員OB	0	0	0	0
他団体兼任	6	6	6	6
その他	0	0	0	0
職員数	92	102	102	109
常勤	46	47	47	44
市派遣	4	2	2	1
市職員OB	0	0	0	0
プロパー職員	42	45	45	43
他団体からの派遣	0	0	0	0
非常勤	46	55	55	65
市兼任	9	8	8	12
市職員OB	3	6	5	5
他団体兼任	0	0	0	0
その他臨時・嘱託等	34	41	42	48
見直し等の取組み	市派遣2名減。嘱託職員により補充。	市派遣2名減。嘱託職員により補充。	プロパー退職者の再雇用を実施。	市派遣1名減。平成28年9月アーツカウンシル新潟の設置。

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）*市兼任も除く

(単位：人)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
職員の状況	管理職	1	1	0	1
	一般職	78	92	92	95
	合計	79	93	92	96
年齢構成	20代以下	17	14	14	12
	30代	28	27	27	26
	40代	23	37	37	39
	50代	6	6	6	10
	60代以上	4	8	8	8
	合計	78	92	92	95

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度予算
報酬・給与等	308,619	359,340	389,749	441,780
内 市職員分	7,310	3,492	3,595	4,181
役員	12,890	12,374	17,224	18,387
常勤	9,494	9,095	14,060	14,610
内 市職員分				
非常勤	3,396	3,279	3,164	3,777
内 市職員分				
職員	295,729	346,966	372,525	423,393
常勤	217,560	239,362	250,019	268,349
内 市職員分	7,310	3,492	3,595	4,181
非常勤	78,169	107,604	122,506	155,044
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員	4,747	4,548	4,687	4,870
常勤職員	5,128	5,242	5,476	5,870
見直し等の取り組み	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施 ・歴博館長を月固定額から45,000円/日に切替→役員報酬額を抑制	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般正味財産増減の部	経常収益	1,564,321	1,916,598	1,942,855
	基本財産運用益	16,502	16,684	16,930
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	270,723	384,591	412,000
	自主事業収益	270,723	384,591	412,000
	受託事業収益			
	受取補助金等・負担金	1,277,049	1,515,250	1,513,844
	その他経常収益	47	73	81
	経常費用	1,565,531	1,906,875	1,923,331
	事業費	1,545,626	1,882,476	1,899,091
	公益目的事業費	1,458,942	1,583,901	1,662,115
	収益目的事業費	86,684	298,575	236,976
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	19,905	24,399	24,240
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,210	9,723	19,524
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
	特定資産評価損益等			
	投資有価証券評価損益等			
	当期経常増減額	▲ 1,210	9,723	19,524
経常外収益	0	0		
経常外費用	0	0		
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 1,210	9,723	19,524	
一般正味財産期首残高	52,717	51,508	61,231	
一般正味財産期末残高	52,717	61,231	80,755	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他(基本財産運用益)	16,943	16,928	15,395
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 16,501	▲ 16,684	▲ 16,930
	当期指定正味財産増減額	442	244	▲ 1,535
指定正味財産期首残高	1,002,103	1,002,544	1,002,788	
指定正味財産期末残高	1,002,545	1,002,788	1,001,253	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高		1,055,262	1,064,019	1,082,008

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	370,022	436,981	469,504
役員分	14,285	13,755	19,356
職員分	355,737	423,226	450,148

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
資産の部	資産の部合計	1,367,561	1,472,004	1,464,845
	流動資産	249,498	332,464	317,116
	現金預金	159,798	235,912	209,426
	未収金	74,062	79,399	77,095
	有価証券			
	その他流動資産	15,638	17,153	30,595
	固定資産	1,118,063	1,139,540	1,147,729
	基本財産	1,002,544	1,002,788	1,001,253
	特定資産	99,663	122,088	133,116
	その他固定資産	15,856	14,664	13,360
	有形固定資産			2,410
	無形固定資産	15,856	14,664	10,950
その他投資等				
負債の部	負債の部合計	313,508	407,985	382,837
	流動負債	213,845	291,817	259,099
	短期借入金			
	その他流動負債	213,845	291,817	259,099
	固定負債	99,663	116,168	123,738
	長期借入金			
その他固定負債	99,663	116,168	123,738	
正味財産の部	正味財産の部合計	1,054,053	1,064,019	1,082,008
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	1,002,545	1,002,788	1,001,253
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	1,002,545	1,002,788	1,001,253
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	51,508	61,231	80,755
	代替基金			
その他一般正味財産	51,508	61,231	80,755	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)			9,378	
負債の部及び正味財産の部合計	1,367,561	1,472,004	1,464,845	

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市財政支出等の合計	1,199,339	1,249,475	1,436,233
補助金	219,441	241,768	218,692
事業費補助金	190,552	204,552	184,269
運営費補助金	28,889	37,216	34,423
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	979,898	1,007,707	1,217,541
内 随意契約額※	979,898	1,007,610	1,217,541
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)	会場使用料の減免(主催事業開催時) 施設備品の貸与	会場使用料の減免(主催事業開催時) 施設備品の貸与	会場使用料の減免(主催事業開催時) 施設備品の貸与

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

--

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
純資産	1,054,053	1,064,019	1,082,008
公益目的保有財産	▲ 243,654	▲ 242,470	▲ 240,681
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲ 774,746	▲ 774,983	▲ 773,932
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲ 9,378
抛出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	35,653	46,566	58,017

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
経常損益	当期経常増減額	▲ 1,210 千円	9,723 千円	19,524 千円	
自己資本比率	純資産	77.1 %	72.3 %	73.9 %	
	純資産＋負債				
流動比率	流動資産	116.7 %	113.9 %	122.4 %	
	流動負債				
固定長期適合率	固定資産	96.9 %	96.6 %	95.2 %	
	固定負債＋純資産				
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	資産の部合計				
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	54,053 千円	64,019 千円	82,008 千円	
公益目的事業比率	公益目的事業費	93.2 %	83.1 %	86.4 %	
	公益・収益目的事業費＋管理費				
遊休財産水準	公益目的事業費 遊休財産額	40.92	34.01	28.65	
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	● 有	→	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。	○
				② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。	○
				③ 資金運用に関する情報収集に努めている。	○
				④ 元本割れのリスクはない。	○

（2）団体の自立性

指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	8.7 %	4.3 %	4.3 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	76.7 %	65.2 %	73.9 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	1.8 %	1.9 %	1.8 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度
職員1人当たり売上高	事業収益	2,943 千円	3,771 千円	4,039 千円
	職員数			
職員1人当たり経常利益	事業活動収支差額	▲ 13 千円	95 千円	191 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	1.3 %	1.3 %	1.3 %
	経常費用			
職員1人当たり管理費	管理費	216 千円	239 千円	238 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	23.7 %	22.8 %	24.2 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	3.9 %	3.1 %	4.1 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称 { 事業計画書(市民芸術文化会館・音楽文化会館) 同上 (歴史博物館・旧税関庁舎等及び旧小澤家住宅) } 計画期間 { 平成26 平成28 ~ 平成30 平成32 } 年度
概要・数値目標 芸術・歴史文化の振興という目的を達成するための主要な事業としては、市から指定管理を受託して行っている各文化施設の維持管理と文化事業の実施がその根幹をなしており、指定管理期間(5年間)を計画期間として、「主要事業」欄に掲げているホール等の利用率、施設入館者数等を数値目標として事業計画を策定している。 なお、昨年度、見直し策定された新潟市文化創造交流都市ビジョンの内容を踏まえながら、財団事務局として今後5年間の財団経営の方針を定めた「財団経営方針-財団が目指すべき組織像」を策定した。 また、新潟市のビジョンとの関連から新たに事務局内に設置した「アーツカウンシル新潟」についても6年間の中長期計画を策定した。	
無	未策定理由 { }

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種 { }	● 有	依頼時期 平成7年度～ 依頼先職種 { 税理士 }
● 無		無	

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 年度～ (市民芸術文化会館と音楽文化会館の一体的管理を目的に、保守契約の一元化(H18～)、設備 運転及び警備業務を統合したうえで複数年契約(H19～)を実施 公益法人会計基準への対応 ・新公益法人会計基準(H18～H23) - 事務効率化を図るため財務システムを導入(H21～) ・新新公益法人会計基準(H24～) - 24年度開始に向けた上記財務システムの改修(H23) - 改修後のシステムの運用及び微調整(H24))
無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 年度～ (各々の業務分野での専門研修に随時職員を派遣したほか、職員全体を対象とした財団主催の研修 を年度毎のスケジュールにより実施。また今年度から係長・主査クラスを対象とした階層別の 組織マネジメント力にかかる研修を実施。 ・契約関係研修(H21) ・接遇研修(H23) ・情報セキュリティ研修(H23) ・庶務研修(H27県民会館職員向け H27マイナンバー対応等) ・コンプライアンス研修 ・組織マネジメント研修(H28))
無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定時期 平成12年度～ 規定名称 { 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団情報公開規程 }	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成17年度～
無	未整備理由 { }		● 事業内容 平成17年度～
			● 役員名簿 平成17年度～
			● 役員報酬 平成17年度～
			● 事業報告 平成17年度～
			● 正味財産増減計算書 平成17年度～
			● 貸借対照表 平成17年度～
			● 事業計画書 平成17年度～
			● 予算概要 平成17年度～

改善対応区分

- A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
- B: 改善の取組の効果が始まっている
- C: 改善の取組に着手
- D: 改善の取組に向けて検討中
- E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【今後改善を要する事項とそれに対する取組み】の改善状況

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
公益目的事業の柱である指定管理事業を着実に遂行するために、安心・快適に利用してもらえよう施設の管理運営と、魅力のある文化事業を引き続き実施し、公益財団法人としての公益認定基準の維持に努める。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		平成28年度は、事業を着実に実施した結果、公益法人に求められている「公益目的事業比率」をさらに上昇させることができた。					
①	今後の具体的な改善・対応方針等	平成29年度以降においても、指定管理事業を遂行する中で、引き続き公益認定基準の保持に努める。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	指定管理事業の受託・遂行	指定管理事業受託・遂行	指定管理事業受託・遂行	指定管理事業受託・遂行	指定管理事業受託・遂行		
今後の改善・対応	工程	収支相償・公益目的事業比率のクリア	基準の保持	基準の保持	基準の保持	基準の保持	

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
市と協議しながら、派遣職員からプロパー職員への切替えを進め、また職員育成・職務能力の強化のため各種研修の充実を図るなど、団体としてより一層の自立を目指す。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		市派遣職員からプロパー職員への切替えはほぼ完了し、平成29年度からは1名である。					
②	今後の具体的な改善・対応方針等	今後も市と協議しながら、プロパー職員の採用を進める。市の政策との整合性を保つため、市所管課との適切な人事交流についても引き続き検討を進める。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	市職員からプロパー職員へ切替え	実施	実施	実施	実施		
今後の改善・対応	工程	職員研修	実施	実施	実施	実施	

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
指定管理者としての確固たる実績を築くために、自主財源の確保や施設利用率の向上に努めるなど、指定管理期間の事業計画に掲げた目標値の達成に努める。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		厳しい経済状況が続く中、国等の補助金等の確保や魅力ある自主事業の実施により入場料収入のアップに努めた。					
③	今後の具体的な改善・対応方針等	今後も目標値の達成に努めるとともに市民満足度のアップを目指し、より質の高い魅力的な文化事業を企画実施していく。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	自主財源比率・入場者数の目標値達成（芸文・音文）	進行管理	進行管理	進行管理 次期指定管理へ応募	受託・進行管理		
今後の改善・対応	工程	入館者数の目標値達成（歴博・小澤）	受託・進行管理	進行管理	進行管理	進行管理	

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
各施設において安心・安全及び快適な利用のための維持管理に努める。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		営繕所管課、市所管課と協議しながら、市民芸術文化会館改修に係る実施設計を行い、改修工事に着手した。					
④	今後の具体的な改善・対応方針等	平成30年度までに、市民芸術文化会館において、市民利用に配慮しながら改修工事を実施していく。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	工程 市民芸術文化会館	改修実施	改修実施	改修実施			

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館・新潟県民会館の一体管理が実現したことから、各館の特性を活かした事業の検討・実施に取り組むとともに、複数館の一体的な事業の実現など相乗効果が期待できる事業構築を検討するなど、更なる入場者数・入館者数の増、専門ホールの利用率の向上に努める。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		3施設の一体管理により、施設相互の情報共有・発信に努めるとともに、施設の特性を活かした事業の実施に努めた。また、警備、清掃業務委託など、3館一体で契約を行い、契約事務の効率化と経費の節約に努めた。					
⑤	今後の具体的な改善・対応方針等	各館の特性を活かした事業の実施に取り組むとともに、一体管理の相乗効果が期待できる事業構築に努める。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	工程 各施設利用率の目標値達成（芸文・音文・県民会館）	進行管理	進行管理	進行管理	進行管理		
	県民会館の指定管理	受託	受託・指定管理者へ応募	受託	受託		

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
行政との役割分担、新潟市文化創造都市ビジョンと連携した事業の実施、財団の全市的な役割等とそれらを実施する組織の在り方や必要な人材育成等を含めた中長期計画の素案を作成済みであり、今年改訂される新潟市の文化創造都市ビジョンとの整合性を検討の上、計画として策定。（平成29年3月理事会へ報告予定）							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		財団の中長期計画の策定は、財団事務局としての「財団経営方針」を策定した。この方針に基づき今後の財団経営にあたってゆく。なお、昨年度からその先取りとして「アーツカウンシル新潟」の設置と運営及び職員人材育成として「課長職研修」「課長代理職等研修」を実施した。					
⑥	今後の具体的な改善・対応方針等	新潟市文化創造交流都市ビジョンと連携を図りながら、アーツカウンシル新潟を中心として、東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム等の企画・支援を進めてゆく。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	工程 財団のマネジメント及び人材育成の取組策定	策定	進行管理	進行管理	進行管理		

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始まっている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中
 E:今は実施せず今後の課題とする

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項							
市が策定した新潟市文化創造都市ビジョンと連携した文化振興事業について積極的に実施する。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		新潟市文化創造交流都市ビジョンの内容と連携し、またその先取りとして「アーツカウンシル新潟」を設置し、運営を開始した。					
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		新潟市文化創造交流都市ビジョンの内容と連携し、アーツカウンシル新潟を中心に「beyond2020プログラム」に参画して、本市文化の魅力を世界に発信していく。				
	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	市ビジョンと連携した事業の検討・実施		実施 新たなビジョンの基での事業整理	実施	実施	実施	

改善指示事項							
上記ビジョンを踏まえた団体全体としてのあり方や事業計画、職員体制を明確にした計画を別に策定する。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		財団の目指すべき組織像を中心とする財団事務局としての財団経営方針を定めた。					
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		「財団の目指すべき組織像」の財団内への浸透を図り、職員研修を通して職員の組織マネジメント力を養成し、今後の組織づくりを検討していく。				
	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	中長期計画の策定		策定	進行管理	進行管理	進行管理	

改善指示事項							
公益目的事業比率の認定基準を達成したが、赤字体質にならない経費削減努力が必要である。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		公益財団法人として経費の削減に努め、公益目的事業比率のさらなる向上に努めた。					
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等	経費削減に努めることはもとより、魅力ある事業の実施に努め、自主財源比率の向上に努めます。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	自主財源比率・入場者数の目標値達成（芸文・音文）	進行管理	進行管理	当年度の進行管理・31年度以降の設定	進行管理		
工程	入館者数の目標値達成（歴博・旧小澤）	進行管理	進行管理	進行管理	進行管理		

改善指示事項							
新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館・新潟県民会館の一体管理が実現したことから、各館の特性を活かした事業の検討・実施に取り組むとともに、複数館の一体的な事業の実現など相乗効果が期待できる事業構築を検討するなど、更なる入場者数・入館者数の増、専門ホールの利用率の向上に努めるべきである。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		3施設の一体管理により、施設相互の情報共有・発信に努めるとともに、施設の特性を活かした事業の実施に努めた。また、警備、清掃業務委託など、3館一体で契約を行い、契約事務の効率化と経費の節約に努めた。					
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等	各館の特性を活かした事業の実施に取り組むとともに、一体管理の相乗効果が期待できる事業構築に努める。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	市民芸術文化会館・音楽文化会館の指定管理	進行管理	進行管理	当年度の進行管理・31年度以降の設定	進行管理		
工程	県民会館の指定管理	進行管理	当年度の進行管理・30年度以降の設定	進行管理	進行管理		

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	公益目的事業を着実に実施し、公益目的事業比率をさらに向上させることができた。今後も一層の健全化に努めていきたい。
団体の自立性	市からの派遣職員は現在1名である。財団職員の職務能力の向上や人材育成に配慮し、財団職員の管理職登用を進め、財団としての自立性を高めていくことに努めながら、市との人事交流のあり方も検討していきたい。
経営の効率性・適正性	受託している施設の管理運営について、安心・安全を前提に適正に管理を行うとともに、委託事業の統合や複数年契約などにより一体管理を進めてきている。今後も効率化を図り、可能な範囲で経費削減に努め、経営の効率性を高めたい。 事業実施にあたっては自主財源比率の向上に努めている。
その他	財団の自立性の観点から、市職員の削減、プロパー職員の管理職登用、採用を行ってきた。 アーツカウンシル新潟を設置し、文化団体等への支援助成事業や情報の収集発信、企画提案等の多様な事業を実施して市民の自主的な文化活動を支援し、文化プログラムの推進に努めている。
総括的な所見	
公益財団法人移行後、財団の設立目的である市の芸術・歴史文化の振興、自主的自発的な市民文化創造に寄与するため、また、公益法人認定基準を達成するための公益目的に沿った指定管理事業等を遂行してきた。 今後も、指定管理者として市との連携は不可欠であるため、市の文化施策との整合性を図りながら事業展開を行う。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	公益目的事業比率の向上、また、アーツカウンシル新潟の設立や財団運営方針の策定等、改善指示への対応を着実にしており、評価できる。また、文化事業の自主財源比率も向上し、評価できる。今後も各目標達成に努めていただきたい。
課題及び改善すべき事柄	アーツカウンシルの運営による、本市文化の魅力の発信の積極的实施に努めていただきたい。 また、市民芸術文化会館の大規模改修による影響から、利用者数は減少しているため、利用者数の回復・増加により一層尽力していただきたい。
今後の指導方針	より魅力的な事業運営を進めるため、市補助金以外の自主事業の収入の増加に努めていただき、財団の自主性をより高めていただきたい。

【今後改善を要する事項とそれに対する取組み】

①	施設利用者数増加のため、複数館のより一層の連携により、各館の特色を活かした事業の実施に努め、入場者数・入館者数の増加、ホールの利用率の向上に努める。
②	
③	

【総合評価】

● 概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
<ul style="list-style-type: none"> 派遣職員からプロパー職員への切替えについては、概ね完了しており、今後は、将来の人材育成、登用計画を未策定のまま切替えを行ったことにより、管理職適性のある人材が不足していることや、プロパー職員化の進展により市との人的交流が従来に比べ円滑に行われていないことなどが課題と言える。 指定管理期間の事業計画に掲げた目標値については、自主財源の確保や利用率向上など、未達成の項目について、どこに問題があるのか、要因を分析するとともに、今後の改善に向けて具体的な取り組みを検討する必要がある。 新潟市芸術文化会館、新潟市音楽文化会館、新潟県民会館の3施設を一体管理することにより、一括で警備・清掃業務委託を行った結果、経費の削減が実現している点は評価できる。 中長期計画については、新潟市文化創造都市ビジョンを踏まえ、財団が目指すべき組織像として「財団経営方針」を平成28年度に策定しており、先駆けとして「アーツカウンシル新潟」を設置するなど改善されている。 赤字体質にならないための経費削減については、管理費の削減が実現しており、改善傾向にあると評価するが、具体的な費目ごとの削減目標値は未設定であるため、具体的な削減目標を設定した上で、目標達成に向けて取り組む必要がある。 新潟市からの指定管理料が主な財源であり、市への財政的依存度が高い状況にある点に関する認識及び評価が不十分である。 職員研修によるPDCAサイクルの習得を予定しているが、理論的な習得に留まらず、事業活動の結果に対する事後評価を実施し、次回に向けた改善策を見出す取り組みをまず実践することが重要である。 			
今後の取り組みに対する評価、改善指示事項			
<ul style="list-style-type: none"> 3施設の一体管理による複数館の連携については、アンケート調査を行い、連携によりどれだけ利用者満足度が向上したかなどを調査することも必要である。 改善に向けた取り組みを行う場合は、客観的、計数的な評価指標を設定し、事後に改善の取り組みの成果を評価し得るようになる必要がある。仮に、数値化が不可能な場合であっても、「いつまでに」「何を」「どのように」取り組むのかを具体的に明示する必要がある。 経費の削減に向けた取り組みは、施設ごとに取組む場合であっても、最終的には法人全体の目標を設定した上で取り組む必要がある。 			

【総合評価を受けての団体としての決意】

<p>平成30年2月20日 理事長 小池泰子</p> <p>公益財団法人として、引き続き指定管理業務を適切に遂行するとともに、市と連携を図りながら文化振興事業を実施し、今後も、さらに効率的で魅力的な事業運営に努めていきます。</p>
--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

		改善指示事項				
		経費削減に向けた取り組みは、管理施設ごとに取り組む場合であっても、最終的には法人全体の削減目標を設定した上で取り組む必要がある。				
今後の改善・対応	今後の具体的な改善 ・対応方針等	施設ごとに事業内容や施設内容は異なるものの、法人全体としての経費削減目標設定が可能なものについては、全体の目標を設定して取り組むことに努めたい。				
	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	工程	法人全体の目標の検討と設定及び進行管理と検証	目標の検討と設定	進行管理と目標の検	進行管理と目標の検証	
	成果指標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	活動指標・成果目標	超過勤務時間の削減	計画 前年度比減	実績 設定目標の達成	計画 設定目標の達成	実績 設定目標の達成
	光熱費の削減	計画 前年度比減	実績 設定目標の達成	計画 設定目標の達成	実績 設定目標の達成	